

5階北病棟紹介

看護師長 徳永 恵子



5階北病棟は平成26年7月より回復期リハビリ病棟として新たなスタートをしました。回復期リハビリ病棟とは、急性期治療を終えた脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などの患者さんに対して、日常生活活動能力の向上による寝たきりの防止と自宅退院を目的としたリハビリテーションを集中的に受けることができる病棟です。自宅退院に向けて多職種(医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士・医療ソーシャルワーカー・栄養士など)でカンファレンスを行い、患者さん一人一人の目標を設定し、計画的に退院支援を行っています。

そのため、自宅での生活状況や患者さんやご家族の希望や思いをうかがい、退院後の生活をどのようにしたらいいのか一緒に考えています。退院後の自宅生活に近づけるため、自宅と同じように朝夕は更衣し日中は普段着で、デイルームで過ごすなど、起きて生活する時間を多くしています。日常での動作がすべてリハビリテーションと考え、食事、洗面、更衣、入浴、トイレ歩行など、リハビリを活かし日常生活

動作が自立できるよう取り組んでいます。また、リハビリのため入院期間が長くなるので、看護師、臨床心理士などが対応し、入院生活や退院後の生活等の不安が軽減できるように努めています。

回復期リハビリ病棟でのリハビリを効果的に行うために、栄養状態の評価と運動量を考慮した栄養所要量を提供できるようカンファレンスを実施しています。それぞれの患者さんにあった食事を摂取していただき、リハビリをすすめていきたいと思えます。

5階北病棟には脳卒中リハビリテーション認定看護師がいます。脳卒中は再発しやすい病気と言われているため、再発予防に力を入れています。患者さんの健康意識を高め、退院後も自らが管理できるよう個別に合わせた生活指導を行っています。

たくさんのスタッフがチームで関わり、とても明るい病棟です。これからも患者さんが退院後転倒などないよう安全に、安心していきいきと生活できるよう支援していきます。

